

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより

第263号 2026年4月号



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地



桶ヶ谷沼に春が訪れました

4月になりました。桶ヶ谷沼で越冬していたマガモなどの渡り鳥はロシアなどの北国に戻ってしまいさみしくなりましたが、それらにかわってウグイスなどの鳴き声が聞かれるようになりました。また、「春の訪れを告げる植物」と言われているシュンランの花が咲きました。ベッコウトンボの羽化も始まり、いよいよ桶ヶ谷沼に本格的な春がやってきます。そこで、桶ヶ谷沼で春に楽しめる鳥類と植物の一部を紹介します。



ウグイス

「ホー、ホケキョッ」と大きな声で鳴く。この声には求愛と縄張りの意味がある。声は聞こえるが姿はなかなか見られない。



メジロ

目の周りが白いことから名がついた。雑食性だが花の蜜や果実を好む。椿や梅、桜の花の蜜を吸う姿がよく見られる。



カワセミ

春から夏にかけて繁殖期を迎える。この時期にはオスがメスに餌をあげる「求愛給餌」行動が見られる。



キンラン

林の中でみられる。茎の先に直径1 cm程度の花をつける。1990年代から急激に数が減り絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。



ヤマツツジ

林の中でみられることが多い。花は赤褐色が多い。ツツジの仲間の中では最も背丈が高くなる。



シュンラン

林の中でも一日に数回日光が当たる程度の場所を好む。花は山菜として食されることがある。

豊かな自然を次世代に伝えるため、動植物の採取はしないでください。

ぞくほう 速報

3月24日

ベッコウトンボ羽化第1号

3月24日、待ちに待ったベッコウトンボの羽化が確認されました。昨年も3月24日でした。また、一昨年は3月17日でした。今年と昨年が一昨年より遅くなっているのは2月から3月中旬にかけて寒い日が続いたことが原因だと思われます。

しかし、2012年以前は4月になってから羽化が確認されていますので、それに比べれば早いです。近年羽化が早まっているのは気温の上昇が原因の一つと考えられます。



「桶ヶ谷沼を一周しよう」

- ☆ 日時 5月16日(土) 9:30~11:30
- ☆ 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター、桶ヶ谷沼
- ☆ 対象 一般(小学生は保護者同伴で、未就学児の参加・見学はご遠慮ください)
- ☆ 内容 ベッコウトンボをはじめ自然豊かな桶ヶ谷沼を一周しながら、桶ヶ谷沼に生息する動植物について学びます。ベッコウトンボは春のトンボですが、ぎりぎり見ることができのかもしれない。色鮮やかな初夏のトンボたちも飛び始めているかもしれません。初夏に咲く花を楽しむこともできます。
- ☆ 服装・持ち物 野外観察ができる服装(長そで、長ズボン、帽子)、水筒、タオル、双眼鏡(ある人)、リュックサックなどの肩掛け、少雨の場合カッパ
*水はけの悪いところに行きます。前日や2~3日前が雨天だったら長靴または汚れてもいい靴の持参を。
*観察路にはかなりのアップダウンがあります。事前に体を慣らしておきましょう。
- ☆ 募集人数 20人 *申し込みは直接、電話やファックスでビジターセンターへ

「蚕を育てよう」

- ☆ 日時 5月17日(日) 13:30~15:30
- ☆ 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター
- ☆ 対象 一般(小学生は保護者同伴で、未就学児の参加・見学はご遠慮ください)
- ☆ 内容 蚕や養蚕業に関する講義を受け後、センター内で蚕の観察をします。観察後、数匹を持ち帰ることができます。ぜひご家庭で飼育してください。
- ☆ 服装・持ち物 蚕を持ち帰るためのタッパーなどの入れ物、水筒、タオル
- ☆ 備考 夏休み期間中には蚕は繭をつくるまで成長しますので、夏休みの自由研究の題材としてもいいですね。
- ☆ 募集人数 10組 先着順
*申し込みは直接、電話やファックスでビジターセンターへ